

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-270208

(P2001-270208A)

(43) 公開日 平成13年10月2日 (2001.10.2)

(51) Int.Cl.

B 4 1 K 1/02

識別記号

F I

B 4 1 K 1/02

テマコード (参考)

Q

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-85357 (P2000-85357)

(22) 出願日 平成12年3月24日 (2000.3.24)

(71) 出願人 500132797

池尻 浩彰

宮崎県宮崎市下北方町下郷6100番地1

(72) 発明者 池尻 浩彰

宮崎県宮崎市下北方町下郷6100番地1

(74) 代理人 100087228

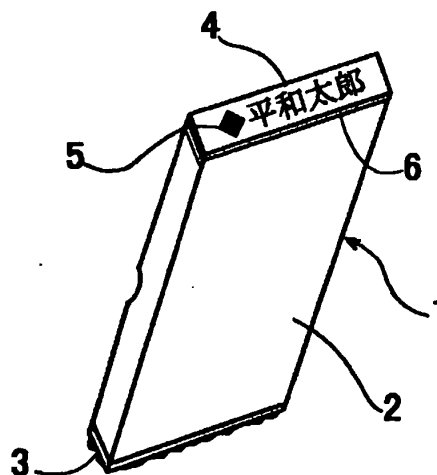
弁理士 衛藤 彰

(54) 【発明の名称】 スタンプ

(57) 【要約】

【課題】 鮮明な見出し部を容易に量産化し得るカラー識別性の高いスタンプを提供する。

【解決手段】 台木2の下面に印面部3を形成し、台木2の上面には見出し部4を形成する。見出し部4の作製は、透明フィルム製のシートにインクジェットプリンターやカラーレーザープリンターでカラー印刷したシート6に両面接着テープ7を貼着したものを所定の大きさに切断して、この切断シートを台木2に接着する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 台木の上面に見出し部を設けたスタンプにおいて、前記見出し部を、カラープリンターによりカラー印刷したプリントシートを切断し、この切断したプリントシートを台木の上面に接着して形成したことを特徴とするスタンプ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、押圧して印字するゴム印などの簡易型のスタンプに関し、特に台木の上面にカラー表示の見出し部を設けたスタンプに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、ゴム印などのスタンプにおいては、台木の上面に印面部と同じ文字を表示した見出し部が設けられる。この見出し部は、通常台木の上面に文字を直接記入あるいは印刷して作製されており、一般に見出し部の文字は黒色で描出されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、見出し部を黒色のみで表示すると、他のスタンプと誤認することがしばしば起こる。例えば、「平和太郎」と「平和花子」といったように同性の者がいて、これら二者のスタンプを押すようなとき、見出し部の表示文字が類似していることから、前者のスタンプを後者のスタンプと間違えてしまうことがある。

【0004】これを防ぐために、スタンプのカラー化により識別性を高めることが考えられる。例えば、台木の上面にカラー文字を直接記入することが考えられるが、この場合は、カラー文字を鮮明に記入することが容易でなく、色の種類が多くなると、生産性が大幅に低下する。また、スタンプの台木自体をカラー化することが考えられる。しかし、この方式では、特に木製の台木の全表面を着色させる作業が面倒になる上に、カラープラスチック製の台木では製作コストが嵩むという問題がある。本発明は、上記課題に鑑みなされたもので、その目的は、カラーの鮮明な見出し部を容易に作製できると共に、識別性に優れたスタンプを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】このため本発明は、台木の上面に見出し部を設けたスタンプにおいて、前記見出し部を、カラープリンターによりカラー印刷したプリントシートを切断し、この切断したプリントシートを台木の上面に接着して形成したことを特徴とする。

【0006】本発明に係るスタンプの台木の材質は、木質材、合成樹脂材、ゴム材、紙材などを使用でき、台木の平面形状は角形、丸形など任意である。台木は下面に印面部を有し、上面に見出し部を設ける。見出し部の作製にあたっては、パソコン等の画像作成ソフトウェアを用いることができ、インクジェットプリンターやカラー

レーザープリンター等によりプリントシートに文字や図柄をカラー印刷する。プリントシートとしては接着剤付きの透明フィルムを使用し、透明フィルムの裏面側に印刷し、これに両面接着テープを貼り付ける。文字や図柄には、英数字、記号、デザイン、ロゴマークも含まれる。次に、プリントシートを見出し部の寸法に見合せて切断し、得られた切断シートを台木の上面に接着し、これによりカラー表示の見出し部が作製される。このように透明フィルムの裏面側に印刷することにより、印刷面は透明フィルム表面に保護されるので、スタンプの使用により見出し部の印刷面が剥脱したり、汚れることがない。尚、この見出し部は縦書きと横書きのいずれでも良い。

【0007】本発明で実施可能なカラー印刷方式としては、複数のカラーを印刷する多色印刷方式と、単数のカラーを印刷する単色印刷方式がある。ここに、カラーとは無色以外の色を意味し、黒色及び白色も含まれるが、色違いによる識別機能を高めるため、赤色、青色、緑色などの目立つ色を使用するのが好ましい。カラーで表示する部分は見出し部の全体又はその一部分である。

【0008】具体的には、「平和太郎」と「平和花子」を互いに異なるカラーで表せばよいが、「太郎」と「花子」のみを異なるカラーで表しても良い。このように見出し部をカラー表示することで、見出し部に対する視認性や識別性が向上することはもとより、スタンプがカラフルになり、外観意匠も向上して商品価値が高くなる。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に示す実施例に基づいて説明する。尚、本実施例は樹脂製の印面部をもつ簡易型スタンプに適用したものである。図1は本発明に係るスタンプを示す斜視図、図2は本発明に係るスタンプの他の実施例を示す斜視図、図3はカラー印刷されたプリントシートを示す説明図、図4は収納時のスタンプを示す平面図、図5は枠線付きの見出し部の表示例を示す説明図である。

【0010】

【実施例】図1において、1は押圧式の簡易型スタンプ、2はその台木で、台木2は木屑を集成して固めたりサイクル木片を加工して作製されている。台木2の下面には紫外線硬化樹脂製の印面部3が形成され、印面部3には、所望の表示内容が刻設されている。例えば「平和太郎」、「普通預金」、「平和銀行」、「領収書在中」、「速達」等、その他、使用頻度の高い勘定科目文字や評価印などの印版文字を刻設できる。この場合、各スタンプの種別が一瞥して認識できることから、事務作業の能率が向上する。台木2の上面には見出し部4が形成され、見出し部4には、少なくとも印面部3の印版文字と同じ文字が表示されている。この見出し部4には、希望に応じてイニシャルマークやロゴマーク等のマークを適宜に付加表示できる。

【0011】ここで、「平和太郎」用のスタンプ1の見出し部4には、「平和太郎」という文字に加えてマーク5「◆」も表示されている。また、図2に示すように、「平和花子」用のスタンプ11の見出し部14には、「平和花子」という文字に加えてマーク15「●」も表示されている。ここに、見出し部4の表示色は青色とされている一方、見出し部14の表示色は赤色とされている。なお、マーク5、15「◆」、「●」の表示色は互いに異なる色であれば良く、青色や赤色以外の黄色や緑色であっても良い。

【0012】見出し部4の作製にあたっては、プリントシートにインクジェットプリンターやカラーレーザープリンター等でカラー印刷し、このプリントシートを所定の大きさに切断して台木2の上面に接着すればよい。すなわち、見出し部4の作製の際、予めカラー表示の内容と寸法形状を決定し、その上で、インクジェットプリンターやカラーレーザープリンター等によりプリントシートに一括してカラー印刷する。図3に、カラー印刷したプリントシート6の一例を示す。このプリントシート6は、防水性の透明フィルムを素材として用い、その裏面

(接着面)側にカラー印刷し、これに両面接着テープ7を貼り付ける。

【0013】次に、プリントシート6の必要箇所を、見出し部4と見合う所定の寸法形状に切り取る。そして、切り取ったプリントシート6を、台木2の上面に張り付ける。これにより、カラー表示された見出し部4が台木2に作製される。尚、見出し部14もこれと同様にして作製されている。

【0014】上述のように、スタンプ1には「◆平和太郎」が青色で表示されている一方、スタンプ11には「●平和花子」が赤色で表示されている。したがって、スタンプ1とスタンプ11は互いに、青色と赤色の色違いにより一見して識別できる。このため、図4に示すように、同姓「平和」のスタンプ1と11とが同じスタンプ収納箱8に置かれていても、スタンプ1をスタンプ11と誤認して取るおそれなくなる。

【0015】このように本実施例の見出し部4、14は、防水性透明フィルム製のプリントシート6の裏面にカラー印刷し、これを台木2、12の上面に両面接着テープ7により接着固定したものである。このため、台木2、12が木質製であっても、見出し部4、14のカラー表示を鮮明に実施できる。また、カラーの種類が多くなっても、見出し部4、14を容易にカラー表示できる。更に、台木2、12の表面を着色する工程が不要に

なり経済的に製造できる。

【0016】もし、見出し部4、14が水に濡れたとしても、印刷面に水が染込むおそれがなく、使用耐久性が著しく向上する。また、見出し部4、14のフィルム面に汚れが付着しても、平坦なフィルム面を軽く拭くだけで汚れを落とすことができる。さらに、透明フィルムは見出し部4、14の保護カバーの役目を果たし、スタンプ1、11の付加価値を高めると共に、見出し部4、14がカラフルになり見出し部4、14の視認性を高めることができる。

【0017】尚、本発明は上記実施例に限定されず、図5に示すように、見出し部4「◆平和太郎」のまわりに枠線9を描き、この枠線9を男性、女性に応じて異なる色で表現してもよい。また、「平和銀行」等の企業名のスタンプの場合、ロゴタイプや企業のマークをカラー表示することにより、使用者への広告宣伝効果も期待できる。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば、カラープリンターでカラー印刷したプリントシートを切断し、この切断シートを台木の上面に接着して見出し部を形成したことにより、見出し部のカラー表示が可能になり、スタンプの識別性及び外観意匠性を高めることができる。この場合、台木の素材に関係なく、容易に表示できるので、生産性が向上し、コストを削減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るスタンプを示す斜視図である。

【図2】本発明に係るスタンプの他の実施例を示す斜視図である。

【図3】カラー印刷されたプリントシートを示す平面図である。

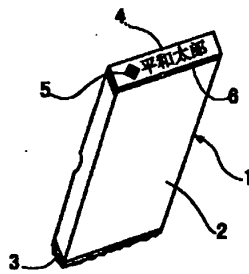
【図4】収納時のスタンプを示す平面図である。

【図5】枠線付きの見出し部の表示例を示す平面図である。

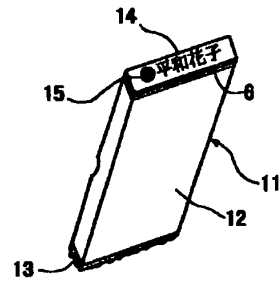
【符号の説明】

- | | |
|------|---------|
| 1、11 | スタンプ |
| 2、12 | 台木 |
| 3、13 | 印面部 |
| 4、14 | 見出し部 |
| 5、15 | マーク |
| 6 | プリントシート |
| 7 | 両面テープ |
| 8 | スタンプ収納箱 |
| 9 | 枠線 |

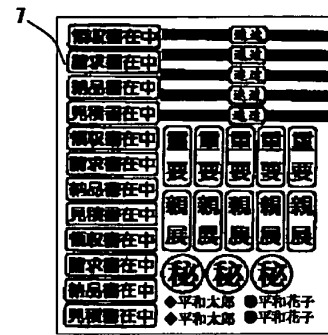
【図1】



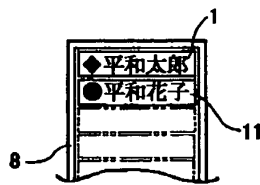
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

